

平成28年度 第2回 認知症対応型通所介護運営推進会議録

日 時	平成29年 3月 2日(木) 14:00～15:00	場 所	岩本町ほほえみプラザ 4階会議室1
議 長	野田久美子 (印)	書 記	浅野明日香 (印)
出席者	委 員: ●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏 ●●●●氏、●●●●氏		
	事務局: 野田久美子、五十嵐容子、浅野明日香、金原智子		
議 題	1. 管理者より挨拶		
	2. 事業について今年度の報告		
	3. 質疑および評価		
	4. その他		
会 議 内 容	1. 管理者より挨拶 平成28年8月より認知症対応型通所介護管理者が館長坂本卓穂から野田久美子に変更となっている。 出席者の自己紹介を行う。		
	2. 事業について今年度の報告(野田・浅野) 下半期は、施設入所・永眠の理由から廃止となるケースが増え、現在在籍8名のみとなっている。 下記の2例について、報告を行う(別紙参照)。 (1) ●●様 90才 女性 要介護5 幻覚・興奮症状に対する個別ケアについて (2) ●●様 89才 男性 要介護5 口腔ガンを患う方の受け入れ・ケアの取り組みについて		
	3. 質疑および評価		
	Q. 事例1について、ガンの告知は本人にしたか?(●●委員) A. 家族が3回ほど文章を読みあげて伝えと、うなずかれた。		
	Q. 事例2について、精神科の専門医を家族に勧めたのは誰か?(●●委員) A. 金原看護師より、家族に提案した。		
	・(事例で挙げた利用者との関わりを通して)本人も満足感が得られた。利用者が減ったことで、(奥様に)寂しさがあり、「休んでいい?」と話すことがある。自身の居場所に戸惑いがある様子。 内面の不安定さにつながっていないか気を付けて、無理をさせないようにしている。最近では、デイサービス以外で発散することができる場所を探し、認知症カフェ「はあとカフェ」に参加し始めた。本人はボランティアをしている感覚で楽しんでいる様子(●●委員)。		
	・(事例を通して)連携がうまくいっている。認知症の家族の会について、家族が立ち上げる事でうまくいくのでは?家族が一番大変であるから愚痴の言える場所は良い(●●委員)。		
	・認知症カフェについて、認知度が低く、あまり知られていない。もっと認知度を高めるためにデイサービスからチラシを配布する等、施設から発信するのは良い。パンフレットやホームページに載せても知られていない事が多い。口頭で伝える事も大切(●●委員)。		
	・今回のご意見を参考にさせて頂き、今後のサービス利用につなげられる様取り組んでまいります(野田)。		
	4. その他 特になし。		
	以上		